

春日町15周年記念事業

The History of Kasuga-chou

春日町  あゆみ

春日町第1自治会  
春日町第2自治会

# 春日町近郊、航空写真

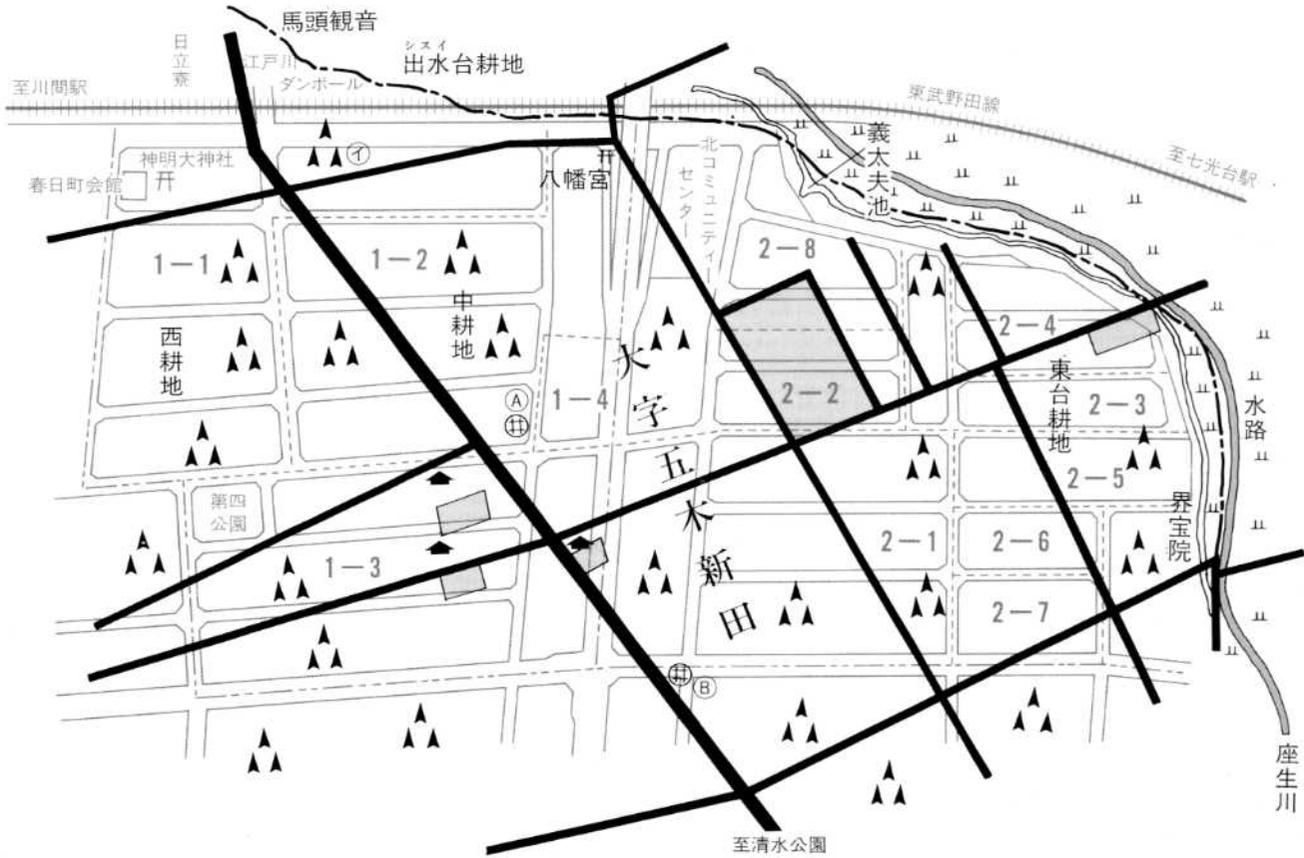


昭和47年撮影



平成6年撮影

# 春日町旧道路地図と現在の配置図



(大正末期図 製作者：岡部高一氏)



現第一家電うしろ側(図中①の地点)、林の中の道  
昭和42年2月 写真提供：木内重明氏

- (1)古井戸①は、岡部多左衛門氏の屋敷跡。  
古井戸②は、岡部喜左衛門氏ゆかりのもの。
- (2)東武線は昭和に入って開通したものが地図作成上仮に記入した。

旧道路	———
旧境界線	- - - - -
自治会境界線	———
班境界線	- - - - -
家	▲
古井戸	⊕
山林	▲▲
水田	≡
畑	■

## 街のルーツを求めて

第三代町会長 寺田 禎之

街に歴史あり。自然があり、やがて人が住みつき部落をつくる。最初は3から4軒の小さな部落も、村になり、そして大勢の人が住み街となる。いろいろの職業の人達が互いに協力し、肩を寄せ合っ  
て幸福な生活を営む。自然と人間が共生し、人間と人間が折り合い  
をつけながら睦み合う。これが街だと思う。自治会・町会はこのた  
めに存在するといっても過言ではない。

春日町会も成立して15年になる。会員の皆様の御協力によって、  
ここまでやってこれたと感謝に絶えない。周辺の自治会、商店会の  
皆さんとの共生も忘れられない。市長さん議長さんなど役所の方々  
のかわらぬ御支援にも感謝したい。ことにこの自治会・町会を創業  
された人達、いわゆる井戸を掘った人達のことを忘れては水を飲め  
ない。さらにもっと古く江戸時代からこの地に住みはぐくまれた人  
達の苦労を忘れてはなるまい。そういう諸々のことを一度振り返り、  
歴史を訪ね、われわれの活動を記録にとどめておくのも街づくり活  
動の一つだと信じ、小誌を編集した次第である。編集に努力された  
神尾委員長はじめ委員の方々、原稿を寄せて下さったの方々、街の大  
先輩、岡部高一、岡部はる、岡部明周各氏の御協力に心から感謝し、  
ごあいさつといたします。



左より第一代町会長 故 高嶋氏、第三代町会長 寺田氏、第二代町会長 及川氏

## 春日町15周年を祝して

野田市長 根本 崇

春日町町内会が、めでたく発足15周年を迎えられ、記念誌「春日の歴史(あゆみ)」を発刊されますことは、まことに意義深く、心からお喜び申し上げます。

一面の平地林が整然とした住宅地になり、春日町の誕生したのが昭和55年5月3日、この日は、野田市制30周年の記念日でもありました。それから15年、その歩みとともに立派な自治組織としての足跡を残され、今日を迎えられましたことに深く敬意を表します。

野田市は今、市の特徴的魅力を探り出し、潜在的能力を把握し、実態を捉えながら「緑のふるさと野田」推進に向けて取り組んでおります。これは人間性を豊かにするとともに、健康で文化的な生活を営むうえでの基本となるものです。春日いちょう通りは、過日「新日本街路樹百選」の一つに選ばれました。春日町が、緑に囲まれ心の通う魅力あふれる町として、ますますの御発展を祈念して、お祝いの御挨拶とさせていただきます。



第19回 春日町クリーン作戦 平成4年7月

## クリーン作戦発祥の地

前野田市長 川島 健正

市長に就任してから、今まで接触の少なかった地域を見学することにした。

春日町という街あり。寺田さんという人にあう。「今度の市長はどんな者かいな」とばかり話がはずんだ。お付き合いをさせてもらう。

この辺は、未だ介在林等が多く、そこに不法投棄が多く見られた。街づくりに熱心な有志が集まって、「自分たちの街は自分たちの手で」をスローガンに、コミュニティは環境美化運動から立ち上がった。心行一体のクリーン作戦で模範の先鞭を切ったのである。

村の鎮守「神明大神社(通称・春日神社)」も、みんなで御改修をされて町のシンボルとして崇拝している。公園には桜等を植えて、元旦の初詣でから、お花見、夏まつりと、町民みんなで楽しんでいる。

この町が、会発足15周年を迎えて、あゆみを振り返り、更に前進させようと、誌を編む。

次代の人に自慢のできるふるさととして。これぞ郷土愛のなにもでもない。有賀太意。



第12回 春日町クリーン作戦本部 現・立体交差道路地点。昭和63年12月

## 心のふれあうまち

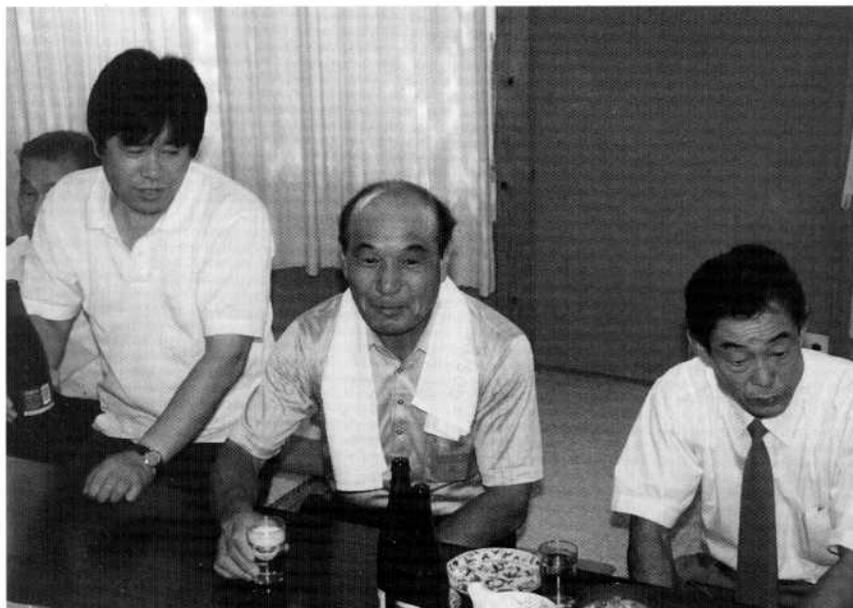
野田市議会議長 飯塚 武

みんなでやるから楽しい。みんなが参加するから盛り上がる。春日町の酒がうまい、楽しいからうまい。「お祭り」「クリーン作戦」何事も全員参加。みんなで参加した運動会で2位に入賞した。次回は優勝だろう。

春日町の楽しい仲間が沢山できた。お世話になってから、いつの間にか約十年が過ぎている。今では春日町の住民のような顔をしておつき合い頂いている。何か温かさを感じる春日町が益々好きになる。

それぞれの役員さんが、自分の役割をきちんと果しているから、住民が自分たちの街を住み良くする手段、方法をわきまえているから、楽しさが盛り上がり、温かさがにじみ出るのだろう。

道路や上下水道などが完備しているばかりでは住み良い街とは言えない。心のふれあいを大切にする住み良い街造りのモデルとして、春日町の存在は益々重くなる。皆様方のご健勝と繁栄を心からご祈念申し上げたい。



「加藤氏激励会」左より岡部第1自治会長、飯塚氏、加藤氏。平成6年夏

# 思い出

第二代町会長 及川 勝三郎

昭和41年5月春うらら。私は野田市五木新田62番地沢井製缶社宅に、東京都荒川区から転居して来ました。

回りを見ると、北は田ンボ、西に人工池と畑、東と南は雑木林に囲まれた静かな台地で、夏の夜などホタル・カブト虫達が家の中に入ってくる、自然が残るすばらしい環境に囲まれていました。

東京から、夜帰ってくると、川間駅で降りる人は二人ぐらい。家に帰るのに真っ暗で、わずかな外灯がたよりの静かな村でした。

47年10月今まで静かな村に、ダンプ車・ブルドーザの音が響き、区画整理の工事が始まり、9年がかりで新しい町が完成し、54年5月春日町が誕生。55年秋、春日町会館が完成して、新生春日町自治会がスタートし、現在の発展をみたわけです。

私は春日町自治会発足の時から色々な行事に参加し、大勢の人々に出会い、数々の楽しい思い出を後に、平成元年1月市内七光台地区に転居しました。春日町での長い生活は、私の一生の思い出として忘れる事が出来ません。

今後も、春日町自治会の益々の発展と、会員の皆様のご健康を心から御祈念申し上げまして私の思い出とします。



夏まつりより 昭和62年8月



後方は三角公園方面

写真提供：木内重明氏

# 思い出

高木 慶子

主人が子ども会の会長に！ 我が家にとって大袈裟でなくまさに晴天の霹靂の出来事でした。

昭和54年3月に一家4人で引越して7年目、不義理をしない程度の町会とお付き合いが新住民にとってのマナーと心得て、子どもの成長を楽しみに過ごしていた時のことでした。毎晩の要請に辞退できないものとあきらめ、私も役員の順番ということもあり共に頑張ろうと覚悟を決めました。

当時子どもの人数もピークにあり活気に溢れた子ども会であったように思われます。次々に計画される行事「新入生歓迎会、花壇づくり、キャンプ、お祭り、畑づくり、映画等」に戸惑いながらもめり込んでいく自分を思い出します。

役員を終えて、子ども達を通して地域を知る事ができたように思われます。親達が交代で役員になることで、子ども達の様子を知る人が増えます。それは我が子が大勢の大人達に見守られ、安心して過ごせる事に繋がるのだと思うのです。

3年前、事情で岩名に引越しをしましたが、12年間過ごした春日町が我が子にとってすてきな故郷、私達にも第二の故郷となりました。「仕方なく引き受けた役員」の贈物……。秋の夜長、一杯飲みながら主人と思い出話に楽しい一時を過ごしました。

春日町の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



写真中央、高木さん 昭和63年7月



子供会キャンプ「第四公園」写真中央、高木氏 昭和61年7月

## 各部行事

# 春

- 植樹
- 観桜会
- 子供会
- 旅行
- ソフトボール大会
- 少年野球



桜植樹「第四公園」昭和59年4月



根本市長寄贈、みかん植樹。平成6年4月



つつじ植樹 昭和60年4月



観桜会 平成5年4月



観桜会 平成6年4月



子供会江戸川護岸クリーン作戦 昭和61年6月



霧降高原の旅行 昭和62年6月



婦人部旅行 平成3年5月



筑波山登山 平成3年3月



一年生を迎える会 昭和60年4月



町内ソフトボール大会 昭和61年5月



町内ソフトボール大会 平成2年5月



ファイヤーバードのメンバー



ファイヤーバード試合終了後

# 各部行事

# 夏

- 子供会キャンプ
- クリーン作戦
- 夏祭り



子供会関係者  
平成2年7月

第四公園にてキャンプ  
昭和62年7月



第1回子供会キャンプ 会館で映画会 昭和58年8月



田中俊三氏の林の中でキャンプを行う 昭和59年8月



清水公園でキャンプを行う 平成2年7月



朝のラジオ体操 清水公園にて 平成3年7月



第5回 クリーン作戦 昭和60年7月



クリーン作戦 平成3年7月



子供会みこし 昭和60年8月



夏祭りやぐら建て 昭和61年8月



子供会みこし 平成6年8月



夏祭りおどり練習風景 昭和59年8月



夏祭り 平成3年8月



夏祭りおどり 平成3年8月

## 各部行事

# 秋

- 北部地区大運動会
- クリーン作戦



北部地区大運動会応援風景 昭和63年10月



リレーのメンバー 昭和63年10月



血圧測定 平成2年10月



競争前の緊張の瞬間 平成4年10月



ボーリングリレー 平成4年10月



飴食い競争 平成4年10月



綱引き 平成6年10月

# かすが

発行：春日町第一、第二  
連合自治会 広報部  
No. : 第071号

## 壮年の部第一位、総合準優勝 第15回北部市民大運動会

今年台風の影響で9月、10月は休みの日にもみられるなど、さんたんたる状況のなか、土曜日から雨も上がり、青空も徐々に広がって来た。競技は常に善昌のリードで展開、折り返しでは、1位善昌2位春日町との得点差8点と迫り、さして午後の種目は、春日町が各種目でも上位に入り、善昌を抜いて優勝……と誰もが思い届かなかった。さて全種目終了、得点発表では逆に優勝は善昌、準優勝春日町、その差3点と悔やし涙をのみました。前回3位今回準優勝と喜ばしい結果ではありますが3点差の負は誰の心の中にも悔やしが忘れ次回への決意を新たに留めたことと思う！！

	優勝	準優勝	第3位
総合	善昌 208点	春日町 266点	吉春 250点
少年の部	吉春	善昌	春日町
青年の部	善昌	吉春	春日町
壮年の部	春日町	善昌	吉春
老年の部	岩名	善昌	谷



### 自治会だより

- ★文化部 12/23、もちつき大会実施予定
- ★衛生部 12/2、春日町クリーン作戦実施予定
- ★婦人会 10/22、婦人会旅行、約42名参加予定
- ★交通安全 10/27、北部小体育館にて交通法規講習実施、PM 7:00～
- ★子供会 11/9、バドミントン大会予定  
女子7名練習中
- ★町会 福祉協議会費納入 200円/戸
- ★次西班長役員会 11/3 PM7:30より春日町会館にて
- ★春日町会館清掃当番  
10月 2-4班 11月 2-5班 12月 2-6班  
9/1月 2-7班 → 産布団カバー洗濯月

広報部より毎月発行されて  
いる月刊「かすが」平成2年10月号



初めて大掃除がはじまった丸嶋屋横の道路。昭和58年



川島市長がびっくりされた不法投棄 昭和58年



第22回クリーン作戦 平成5年12月



きれいになった「春日いちよう通り」平成6年12月  
新日本街路樹百選。いちようの部10選に合格。



クリーン作戦の後、とん汁大会 平成元年12月

## 各部行事

# 冬

- もちつき大会
- 新年会
- 元旦マラソン
- クリスマス会
- 凧あげ
- オセロ大会



第1回 もちつき大会 昭和58年12月



第5回 もちつき大会 昭和62年12月



第9回 もちつき大会 平成3年12月



毎年、川間派出所にお供えもちを届ける 昭和60年12月



第7回 もちつき大会 平成元年12月



子供会によるクリスマス会 昭和57年12月



新年会 平成7年元旦



町会マラソン  
野田市報の表紙に掲載される

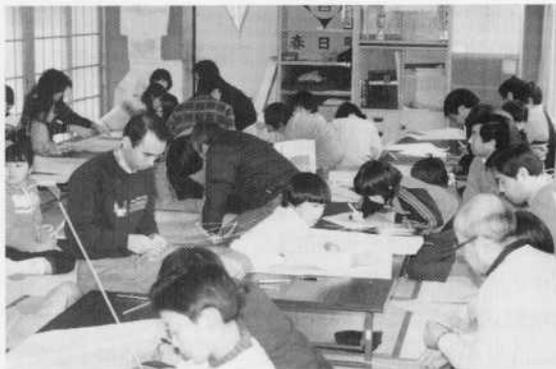
昭和60年



北部地区元旦マラソン 平成3年



元旦マラソン終了後の参加者一同 平成3年元旦



親子凧作り 昭和60年2月



凧あげ 昭和60年2月



オセロ大会 昭和57年3月



オセロ大会 昭和61年2月

# 春日町町会年表

昭和55年	3月9日	神明大神社内春日町会館建設予定地の伐採、約30名参加
	4月1日	岩木小学校創立
	4月17日	役員会にて第一自治会・第二自治会連合会正式決定（第三自治会は別組織として行動） 下部組織として衛生部、婦人部、体育部、子供会の母体が出来上がる 高嶋正雄氏初代町会長に就任 春日町日東自治会（鍋倉吉広会長） 大蔵屋自治会（末高忠男会長） 大和郷自治会（及川勝三郎会長） 五木自治会 以上4自治会を統合し第一・第二自治会を結成
		第一自治会 1～3班 五木より分離
		第二自治会 4班 五木より分離 現2-1班 5班 春日町日東 現2-2及び2-8班 6班 大和郷 現2-3～4班 7班 大蔵屋 現2-5～7班
	5月3日	区画整理事業が完成し、市議会においてこの地を春日町とすることが認められ野田市春日町誕生
	5月5日	春日町会館上棟式
	7月5日	春日町会館落成式
	10月12日	第10回北部市民大運動会に初参加（春日町第1～第3自治会合同）第4位でした
	昭和56年	3月29日
8月8日		第1回夏祭り開催（8/8～8/9）、ちょうちん協賛16件、予算344,000円にて行う
12月		初版会員名簿発行、網代佳治氏を委員長として編集発行
昭和57年	3月28日	第2回定期総会にて毎月第一土曜日の夜7時00分（58年3月より7時30分に変更）より定例役員会を開催することを決定 文化部、広報委員会（後の広報部）の新設が決定される
	5月1日	広報「かすが」第1号発行（赤石正男広報部長）57年度は6号迄発行
	6月27日	第1回将棋オセロ大会開催（安藤康正文化部長）
	7月22日	春日ファイヤーバード（子供会野球部）誕生、土日祭日に中央公園にて練習始まる
	昭和58年	1月30日
6月5日		第1回春日町クリーン作戦実施（吉村一夫衛生部長）
8月27日		第1回子供会キャンプ（8/27～8/28、堀内信吾子供会育成会会長）第4公園にて実施
11月27日		第2回春日町クリーン作戦に川島健正市長出席、挨拶される
12月25日		第1回餅つき大会開催（末高忠男文化部長）
昭和59年	4月11日	自治会班名称改定、1～7班を第一自治会1～3班、第二自治会1～7班とする
	4月	広報「かすが」を月刊発行とする（山岸宣夫広報部長）
	4月15日	第4公園に於いて川島市長を迎え桜の苗木植樹、約40名参加
	5月12日	1-2班を分割、1-4班誕生
	9月1日	町会旗のデザイン決定、八木基彰氏のデザイン案を基に若干の修正を施し町会旗のデザインとする
	10月14日	第12回北部市民大運動会にて町会旗初披露
	12月2日	第1回春日町マラソン大会を江戸川堤防にて実施、大人10名、子供20名参加

昭和60年	4月1日	及川勝三郎氏第2代目町会長に就任
	5月12日	第1回町内ソフトボール大会実施(岡部英俊体育部長)、4チームにて応援含め約60名参加
昭和61年	11月24日	神明大神社新社殿完成遷宮祭行われる
昭和62年	6月7日	霧降高原日帰り旅行実施(高嶋正雄文化部長)、二階建バス利用60名参加
	6月	鍋倉吉広第二自治会長北海道単身赴任の為自治会長不在となる(第二自治会長後任は加藤安雄氏)
昭和63年	8月8日	第7回夏祭りにて、祭りへの会員全員参加を期し抽選会を行うようになる
	11月7日	岩名中学校創立
	12月6日	第10回春日町クリーン作戦中止(寺田禎之衛生部長)、予想以上の早い初雪で、あたり一面銀世界
	1月14日	早川邦次氏(第一自治会第2代目自治会長56/4/1~57/3/31)逝去
	4月10日	第1回親桜会実施(赤石正男文化部長)28名参加、59年4月植樹の桜もやっと花見が出来ました
	5月29日	第11回クリーン作戦(寺田禎之衛生部長)、過去最高の動員283名を得て川島市長より近隣自治体の模範になるとお誉めの言葉を頂く
平成元年	5月	会館の座布団カバーの洗濯を定期的に行うことを確認し以後実施、婦人部(小暮部長)提案
	1月	及川勝三郎町会長が七光台へ転居、3月末まで努めてもらいその後退く
平成2年	4月1日	寺田禎之氏第3代目町会長に就任
	7月10日	第1回婦人部日帰り旅行(近藤すみ子婦人部長)益子焼見学30名参加
	4月26日	北コミュニティーセンター開所式
平成3年	7月21日	子供会キャンプ(水野光明子供会育成会会長)は、今年から清水公園を利用するようになる
	8月10日	春日町と染め抜いたそろいの“ゆかた”完成、祭り会場で一段と目立った
	8月10日	第4公園に手造りの丸太のベンチ2ヶ設置
	6月	加藤安雄氏衛生区長として環境衛生の振興に寄与されたとして野田市長より表彰される (平成元年4月~3年3月の間衛生部長を努める)
平成4年	7月7日	春日町クリーン作戦にて粗大ゴミ回収を中止、今まで続けてきたが市の意向により止むを得なかった
	8月26日	第1回川間花火大会が行われる
	2月19日	宮部範司氏(2-1班)の御子息2人がアルペールビルオリンピックのスピードスケートに参加、行範君が銅メダル獲得
平成5年	5月	「自治会新規加入についての小委員会」(山岸宣夫委員長)発足新規会員加入についての問題点検討
	7月5日	根本新市長就任後対外的な初仕事として第19回春日町クリーン作戦にかけつけ激励の挨拶
	3月28日	第13回定期総会にて町会規約改定案可決「春日町自治会地域内に於ける建設工事倫理綱領」等追加改定規約集発行
平成6年	5月29日	川間跨線橋(北コミュニティーセンター横)開通
	6月10日	岡部高一氏が千葉県神社庁より功労者賞受賞
	12月21日	初代町会長 高嶋正雄氏逝去
平成7年	4月10日	第4公園にみかんの苗木植樹、根本市長さんの前任地島田市より取り寄せたものを市長さんより頂く
	3月	川間跨線橋南側の町会内交差点に信号機完成、跨線橋の開通にともない交通量が増大、町会の働きかけが実を結ぶ
	11月	「春日いちょう通り」が読売新聞創刊120周年企画「新・日本街路樹百景」のイチョウの部10選の一つに選ばれる
	3月	春日町誕生15年を記念して「春日町のあゆみ」出版(神尾仁広報部長)

※年表作成に当たっては過去の資料を参考にしましたが古い資料なので一部事実と相異するところがあるかも知れませんのでここにお断り申し上げます

# 春日町役員変遷

年月日	町 会			第一自治会		第二自治会			
	会 長	副会長		会 計	会 長	副会長	会 長	副会長	
昭和55年4月17日	高嶋正雄	及川勝三郎	—	鍋倉吉広	高嶋正雄	早川邦次	及川勝三郎	末高忠男	—
昭和56年4月1日	↓	↓	—	↓	早川邦次	田中俊三	↓	↓	—
昭和57年4月1日	↓	田中俊三	寺田禎之	福田行雄	田中俊三	岡部裕司	寺田禎之	熊 正治	鍋倉吉広
昭和58年4月1日	↓	↓	↓	吉澤善三郎	↓	↓	↓	↓	加藤安雄
昭和59年4月1日	↓	↓	↓	吉村一夫	↓	↓	↓	吉澤善三郎	↓
昭和60年4月1日	及川勝三郎	↓	加藤安雄	↓	↓	↓	加藤安雄	↓	増野 弘
昭和61年4月1日	↓	岡部裕司	末高忠男	鍋倉吉広	岡部裕司	中島 博	末高忠男	高橋久義	加藤安雄
昭和62年4月1日	↓	↓	鍋倉吉広	熊 正治	↓	↓	鍋倉吉広	木内重明	↓
昭和62年7月4日	↓	↓	加藤安雄	—	↓	↓	加藤安雄	—	—
昭和63年4月1日	↓	↓	吉澤善三郎	↓	↓	浅川和久	吉澤善三郎	↓	渡辺光明
平成元年4月1日	寺田禎之	↓	↓	↓	↓	中島伸昌	↓	↓	高木 浩
平成2年4月1日	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	松本行徳
平成3年4月1日	↓	↓	末高忠男	松本行徳	↓	↓	末高忠男	↓	山岸宣夫
平成4年4月1日	↓	↓	↓	田中正治	↓	↓	↓	↓	↓
平成5年4月1日	↓	↓	↓	吉田定司	↓	小野辰雄	↓	↓	加藤安雄
平成6年4月1日	↓	↓	↓	鈴木哲夫	↓	↓	↓	↓	↓



編集委員会メンバー

## 春日町のあゆみ

発行日	平成7年4月吉日
発行部数	500部
発行元	野田市春日町町会
編集長	神尾 仁
編集委員	赤石正男、網代佳治、五十嵐志郎、岡部裕司、末高忠男、寺田禎之、山岸宣夫、脇谷幸正
企 画	有限会社 シードアップ
印 刷	株式会社 カワダプランニング

表紙デザイン・脇谷幸正

## 旧「川間駅」と現「川間駅」



当時、川間駅は北口のみ。この駅舎は旧野田町駅で使用していた。  
現在は、清水公園の交通公園内にあります。旧「川間駅」北口 資料提供：野田市



昭和45年4月7日より新駅舎使用 写真は現「川間駅」南口 平成6年



春日町第1自治会  
春日町第2自治会